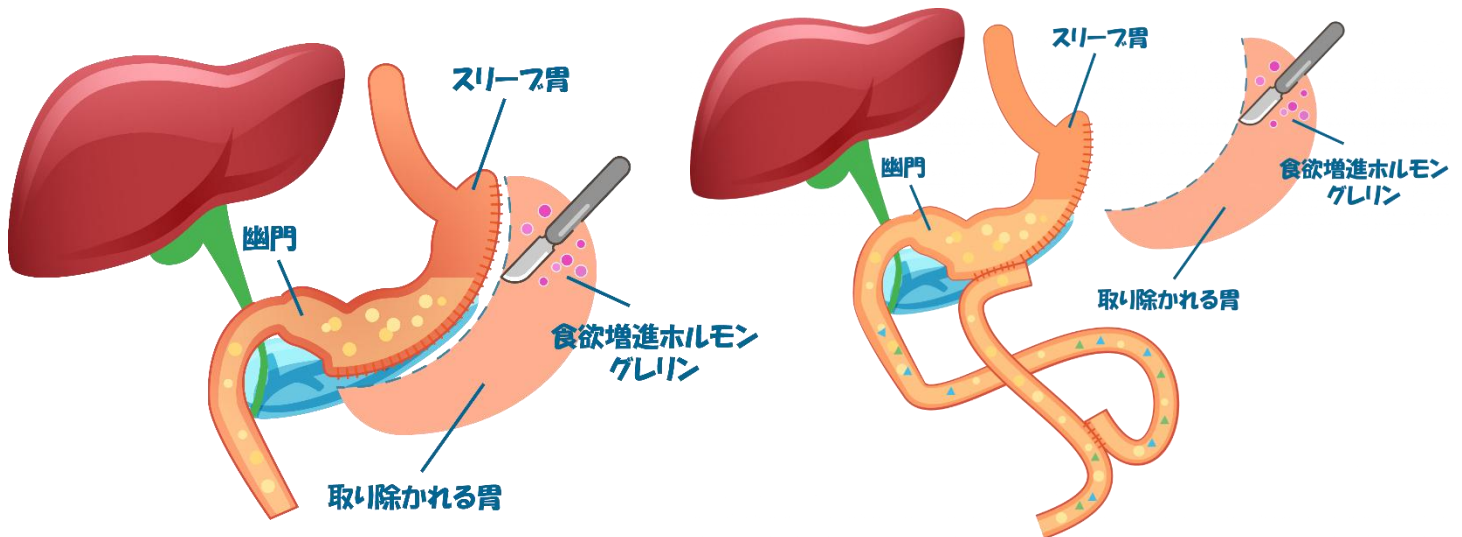


2026 年 10 月 3～4 日に栃木県宇都宮市 “ライトキューブ宇都宮” で開催された、第 47 回日本肥満学会学術集会に参加し、演題発表をしてきました。日本肥満学会は今ホットな学会で、様々な分野の医師・メディカルスタッフで大盛況でした。栃木県初上陸の主任部長です！

まず大事なお役目、演題発表の筆頭演者を務めます。「プレコンセプションケア(妊娠前管理)にチルゼパチドを使用した高度肥満・2 型糖尿病合併妊娠の一例」について症例報告しました。近年、妊娠・出産が可能な 20～40 歳女性の肥満が深刻な問題となっています。妊娠前の肥満や妊娠中の過度な体重増加は、母体のみならず胎児・新生児にも悪い影響を与えます。妊娠糖尿病・糖尿病合併妊娠を専門領域の一つとする主任部長ですが、肥満を合併した妊婦さんの内科的管理は困難を極めます。全国の先生からたくさんのご質問を頂き、充実した発表となりました。

この学術集会は、第 44 回日本肥満症治療学会との共同開催ですので、「肥満外科治療」つまり減量・代謝改善のための外科手術の発表もあります。



スリーブ状胃切除術(左)とスリーブ状胃切除術＋小腸バイパス術(右)の模式図
関西医科大学上部消化管外科学講座 肥満・糖尿病に対する減量・代謝改善手術より引用

<https://www7.kmu.ac.jp/uppergisurg/>

実は主任部長、血液検査で腕に針を刺されただけで目の前が真っ暗になって血圧が下がってしまう(これを迷走神経反射と言います)ので、年 1 回の職員検診の血液検査では、特別にベットに寝た状態で採血して貰っている草食系軟弱女子なんです(笑)。ですので、外科手術なんて本当に別世界…。勉強になりました！

イブニングセミナーでは楽しみにしていた講演がありました。「高危険 MASH を見逃さないために！ かかりつけ医・非肝臓専門医・肝臓専門医の三者連携のためにやるべきこと」 皆さん、MASH 覚えていますか？（糖尿病センターだより 28 号 part2）2026 年 6 月から始めた市立ひらかた病院の MASH・ウゴービ治療には、開始直後より予想をはるかに上回る多くのご依頼を頂いております。主任部長、最新の知見をしっかりと勉強して参りました。

第 1 日目の最後は「全員懇親会」です。



全国の肥満症治療に携わる先生方と交流を深めることが出来ました。そして、コジボウくんと2ショットお写真頂きました！芸人さんの地元あるある漫才も楽しかったです。

特別ゲスト



コジ坊

JSTO会長も「コジマ」！
家電のコジマは宇都宮発祥！
コジマの宣伝隊長「コジ坊」。
全国の店舗やイベントで元気に活躍中！

カミナリ

雷都(ライト)宇都宮に
カミナリ登場！
茨城県銚田市出身の幼なじみ、
竹内まなぶと石田たくみのお笑い
コンビ。強烈なツッコミと茨城弁
漫才で人気！



日本肥満学会学術集会 第2日目に続きます！